



# おすすめ児童書1月



啓林堂書店 外商部

担当 森川・蔵田・八部・表野

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

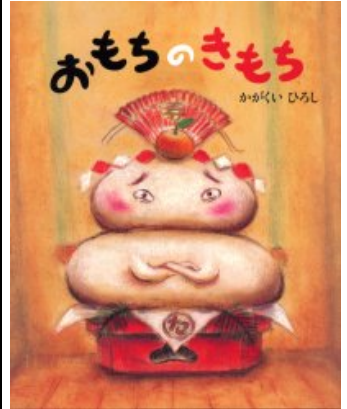

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <http://www.books-keirindo.co.jp/>

## ▽ 幼稚園・保育園以上

	<p><b>めのまどあけろ</b> 文 谷川俊太郎 絵 長新太 ¥990</p>
<p>朝起きて夜寝るまでの1日が詩になっています。 「めのまどあけろ おひさま まってるぞ」 「みみのまどあけろ だれかがうたってる・・・」 声に出して読んでみましょう。ことばのリズムがとても楽しい絵本です。</p> <p style="text-align: right;">福音館書店：1984年 発売</p>	
	<p><b>かあさんねずみの おくりもの</b> 文 谷真介 絵 赤坂三好 ¥1,430</p>
<p>雪の野原でねずみの子どもたちが赤い毛糸の手袋を見つけました。 家に持ち帰って仲良く遊んでいましたが、ケンカが始まって・・・。 お母さんねずみは考えました。 手袋の5本の指をチョンチョンチョンと切って5つの帽子に。 余った部分は・・・素敵なものに変身させてくれました。 よかったね。</p> <p style="text-align: right;">小峰書店：1980年 発売</p>	

## ▽ 小学生以上

	<p><b>おもちのきもち</b> 作・絵 かがくいひろし ¥1,650</p>
<p>たごさくさん家の床の間に飾られた鏡餅。 鏡餅には悩みがありました。 ペタンペタン頭を叩かれ、兄弟たちは伸ばされたり、ちぎられたり、 ねばねばのなっとうをまぜられたり・・・。 いつ食べられてしまうか不安になった鏡餅は逃げ出すことにしました！ さてどうなるかな？ みんなを笑顔にしてくれる絵本です。</p> <p style="text-align: right;">講談社：2005年 発売</p>	
	<p><b>おおさむこさむ</b> 作 こいでやすこ ¥990</p>
<p>おおばあちゃんに今日はゆきぼうずがでるから外に出かけないように、 と言われたのに外へソリ遊びに出かけた きつねの きつこと いたちの ちいとにい。 そこで出会った「おおさむこさむ」と名乗る二つの雪だるま。 一緒に遊んでいたのですが、何だか様子が変わって・・・。 ドキドキスリル満点のお話です。 きつこたちはどうやってピンチを切り抜けるのかな？ (※諸説ありますが、おおさむ は季語の大寒 こさむ は小寒を意味するそうです。)</p> <p style="text-align: right;">福音館書店：2005年 発売</p>	